



教育ながの

第 619 号

平成 26 年 6 月 20 日

★今月号のラインナップ

1. [ひろば](#)

『きみは本当はいい子なんだよ』

教育総務課長 北澤 義幸

2. [特集](#)

平成 25 年度公立高等学校卒業者の進路状況について

教学指導課

3. [今、学校では](#)

○全国規模のコンテストに挑戦し、生徒の可能性を伸ばす

屋代高等学校・附属中学校

○ふるさと信里の自然の中で、花壇づくりに取り組む

長野市立信里小学校

4. [ご存知ですか](#)

「さわやか信州省エネ大作戦・2014 夏」実施中！

5. [イベント情報・お知らせ](#)

○長野県生涯学習推進センターからのお知らせ

○県立長野図書館からのお知らせ

6. [あしがき](#)

『きみは本当はいい子なんだよ』

教育総務課長 北澤 義幸

3月終わりの休日、久しぶりに妻とドライブに出かけた。

とりあえず安曇野方面ということで車を走らせていたが、途中、妻のリクエストに応じて「安曇野ちひろ美術館」に向かうこととなった。ここを訪れるのは2度目である。

折しも美術館では「ちひろ没後40年 絵本になった！『窓ぎわのトットちゃん』展」が開催されていた。1981年に単行本として出版された本作は、初版部数8000部であったが、その後、日本国内で単行本・文庫本合わせて、累計796万部となる国民的な大ベストセラーとなった。そして今回、挿絵を描いた、いわさきちひろ氏の没後40年を記念し、単行本の発刊から33年ぶりに『窓ぎわのトットちゃん』を絵本にして出版することとなり、この企画展の運びになったということである。



東京目黒区自由が丘にかつて存在し、著者の黒柳徹子女史が小学生時代に通学した「トモエ学園」を舞台に、作者自身の小学生時代や学園におけるユニークな教育方法などが描かれた自伝的物語である。

『きみは本当はいい子なんだよ』と、優しく語りかける学園の校長先生の言葉には、子どもを一人の人間としてとらえ、その人格を尊重する。子どものありのままの姿を受け入れ、子どもの好奇心にとことん付き合う。そんな教育観が込められている。

絵本は7月下旬に発売されるとのこと。孫への読み聞かせに一冊買ってみよう。

この春、公立高等学校卒業した方は、15,777 人で、平成 24 年度と比較しますと、915 人少なくなっています。今月は卒業生の皆さんの進路状況の特集します。

★大学への進学状況はどうなっていますか？

国公立大学への進学者は 1,503 人で、進学者数は前年度より減少していますが、卒業生全体に占める割合は 9.5%で、前年度と同じです。

私立大学進学者は、4,317 人、27.4%で、0.2 ポイント増加しています。

4 年制大学全体では、進学者 5,820 人、36.9%であり、0.2 ポイント増加しました。

また、短大進学者は、1,384 人、8.8%であり、前年度より 0.4 ポイント減少しました。

★大学以外を含めるとどうなりますか？

大学、短大、専修学校、海外の教育機関を含めた進学率は、69.2%で、0.7 ポイントの減少となりました。

専修学校等進学者は、4,993 人、31.6%で、前年度より 584 人、1.8 ポイントの減少、浪人生は、1,440 人、9.1%で、前年度より 290 人、1.3 ポイント減少しています。

浪人生減少の理由は、安全志向や来年度より新しい学習指導要領での入試が始まることもあり、浪人をしないで合格した大学に進学した生徒がいるものと考えられます。

今後も、希望する進路の実現に必要な学力を身につけ、学ぶ意欲や問題解決力の向上を目指し、伸びる力を一層伸ばすとともに、受験だけでなく進学後も視野に入れた進路指導を充実させていきます。

★就職状況はどうだったのでしょうか？

就職希望者は、平成 21 年度以降増加傾向にあります。25 年度は前年度より 186 人多い 3,201 人です。このうち、就職が内定した生徒は、3,107 人、内定を得られなかった生徒は前年度より 3 人少ない 94 人です。

また、就職内定率は、前年度を 0.3 ポイント上回る 97.1%です。これは、過去 10 年間では一番高い数値です。

課程別の就職内定率では、全日制が 97.6%、定時制が、92.0%でした。

昨年度は雇用状況が回復に向かい、長野県労働局発表の求人倍率が一部に厳しさがみられるものの、全県では 2 月に 1.26 倍、3 月に 1.28 倍と改善傾向にある中で、各校での年度末ギリギリまでの熱心な取組、関係機関による様々な支援事業の成果で、前年より高い内定率になりました。

今後も卒業生に対しては、これまで同様に相談窓口を設置して、ハローワーク、ジョブサポーターと連携強化を図りながら、国や県の新卒者支援事業などを活用し、未内定者に対する就職を支援してまいります。

[目次に
戻る](#)

◆お問い合わせ◆

教学指導課 高校教育指導係

TEL 026-235-7435

FAX 026-235-7495

E-mail kyogaku@pref.nagano.lg.jp

本校では、日々の授業の充実に加え、様々な全国規模のコンテスト等に積極的に挑戦しています。知的好奇心に支えられた主体的な研究や、広い視野を持ち実社会とつながる学びの創造にも取り組んでいます。今回は、「データビジネス創造コンテスト」と「知の甲子園」への取組の様子と成果をお伝えします。

第1回データビジネス創造コンテストで高校生が最優秀賞

高校3年生の男女4人が、慶応大 SFC 研究所データビジネス創造・ラボなどが主催する第1回データビジネス創造コンテストで最優秀賞を受賞しました。

このコンテストは、ビックデータからどんな新しい知の価値が創出できるかを競うもので、全国の高校、大学、大学院生ら55組が参加しました。具体的な課題は、「一日数億件に上る Twitter で



の膨大なつぶやきを分析し、新しいビジネスモデルを提案する」ことでした。

4人の生徒は同じ花粉症でも、男性はヒノキ、女性はスギ花粉にそれぞれ反応しやすいことを突き止め、患者や医療関係者への提案としました。これが現在進行中の大規模プロジェクトの結果と一致し、低コストでの分析能力が評価されました。理数科の課題研究(数学)としての取組の成果の一つです。

慶應義塾大学環境情報学部長の村井純氏より表彰状とトロフィー、賞金を受け取る

「知の甲子園」で中学生が準優勝、高校生が8位入賞

「知の甲子園」とは、大学の経営学科の授業などにも導入されている MESE (ミース: Management & Economic Simulation Exercise) を使い「日本一の経営者」を目指して競い合う知的プログラムです。アメリカに本部を置く「公益社団法人ジュニアアチーブメント日本」が主催、シティグループが後援し、14~20歳の中学・高校・短大・大学生を対象に実施されています。

生徒は、価格、生産量、宣伝広告費、設備投資費、研究開発費について、チームで意思決定をし、純利益や業界貢献度に基づき出される指標 (MPI) により競います。3月末に東京シティグループ本社にて、1次予選と2次予選を通過した8チームによる決勝戦が行われました。

本校では、中学の社会および高校の政治経済の授業でプログラムを体験し、有志がコンペティションに参加しました。高校生1チームと中学生1チームが初の全国ベスト8に入り、決勝進出を果たしました。さらに中学生チームは3位の東工大チームをおさえ、優勝した立命館高校に僅差に迫る準優勝の快挙を成し遂げました。

本校では主体的に学び続け、新しい時代のリーダーとして活躍できる生徒の育成を目指してこれからも様々な挑戦を続けて参ります。

高校生3名と中学生2名の教育長表敬訪問



[目次に
戻る](#)

◆お問い合わせ◆

屋代高等学校

TEL 026-272-0069 FAX 026-261-3450

E-mail yashiro@nagano-c.ed.jp

屋代高等学校附属中学校

TEL026-272-9201 FAX 026-272-9202

E-mail yashiro-fuzoku@pref.nagano.lg.jp

◇自然に恵まれた環境で、全校で取り組む花壇づくり

信里小学校は、篠ノ井駅から西方に8キロメートル上った標高667.6メートルの丘陵地にあり、付近に長野市立茶臼山動物園や茶臼山植物園があります。校舎からは、西に鹿島槍など北アルプスの峰々、東に茶臼山、眼下には、長野盆地が一望できます。自然に恵まれたよい環境の中で、全校児童64名が仲よく過ごしています。

本校では、学校目標『信里を語る子ども～ふるさとの語りかけに応える子ども～』を掲げ、「豊かな体験活動」を大切にしている教育活動を行っています。中でも全校児童で取り組んでいる花壇づくりは、信里みどりの少年団として、本校が大事に続けてきた活動です。

初夏の子ども達は、カッコウのさえずりを聞き春花壇のパンジーやビオラを眺めながら、サツマイモの苗を植えたり、田植えの準備したりしています。



学校脇の田んぼでカエルの卵をのぞき込む

◇5、6年生を手本に学ぶ花壇づくり

朝の活動の時間に「美化活動」があり、毎週火曜日の朝20分間、全校で花壇づくりの作業をしています。全校児童が長靴を履き、土を耕して花苗を植えたり、草取りをしたりします。1年生は、6年生に教わりながら作業を進めます。5、6年生になると、テーマを決めデザインを考えて、メイン花壇（6年生）、サブ花壇（5年生）をつくります。「美化活動」の時間は、全校で協力し合い上級生の姿から学ぶひとときとなっています。

花壇づくりはまず、種蒔きからです。春花壇は前年の8月、秋花壇は5月に、それぞれ5、6年生が行います。子ども達は真剣なまなざしで、小さな種を一粒一粒丁寧に蒔きます。5月末には、育苗箱に芽吹いた小さな芽をポットに仮植します。その数は、約1,000ポットにもなります。



メイン花壇・サブ花壇・池の周りを囲む花壇



小さな苗を育苗箱からポットに仮植する

◇信里の地域のみなさんと花を通しての交流

信里の畦道や畑、家の庭や辻のあちこちに、地域の方々が植えた花々が咲いています。地域の方々も花を咲かせる活動に熱心です。本校と信里地区では、有旅地区に地域花壇を設営しています。「美化活動」で仮植したマリーゴールドやサルビアを、公民館のみなさんと一緒に定植し水くれをして、花いっぱいの信里にしています。

7月の地区児童会では、民生児童委員さんにご協力をいただき、一人暮らしのお年寄りに花苗をお届けするという活動も毎年行っています。3年生以上が縦割りグループになって、花苗と土やプランターなどを持ってお宅を訪問し、庭先で花苗をプランターに植えてプレゼントしてきます。



支所など地域公共機関に花を届ける活動

◇FBC花壇コンクール 最後の春花壇コンクールで大賞・最優秀賞を受賞しました！

本校は昭和57年以来、FBC花壇コンクール（フラワー・ブラボー・コンクールの略、中日新聞社主催の花壇コンクール）に参加してきました。全校の花壇づくりの取り組みは、ふるさと信里地域を大切に、自主性ある子どもになってほしいという願いのもと、6年生がリーダーとなって運営する活動として、30年余り続いてきました。



テーマ『未来へ 支え合う私たち』

白いパンジーで「支え合う私たち」を、黄色のパンジーで「笑顔の未来」を表しました。

めていただくことができ、全校みんなで喜び合っています。ずっと応援してくれた保護者のみなさんと地域の方々も、我がことのように喜んで、学校の花壇を見に来てくださっています。いつも応援してくださってお世話になったみなさんに、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、この喜びを大切に、次の秋花壇づくりに励んでいきたいと思えます。

今年の6年生10名も、花壇コンクールで入賞してきた先輩たちの取り組みを見て成長してきました。今年度で、春花壇のコンクールは最後で、来年度からは、秋花壇コンクールのみの実施だそうです。最後の春花壇コンクールに向けて、『未来へ 支え合う私たち』をテーマとして、デザインを考え、毎日丁寧に育てました。特に、今年の冬は寒さが厳しく大雪にも見舞われましたから、ビニールハウスで花壇を囲って、春まで大切に守りました。

この度、長野県最優秀賞・大賞をいただきました。努力を認

目次に
戻る

◆お問い合わせ◆

長野市立信里小学校

TEL 026-292-0189 FAX026-261-1437

E-mail nobusatojs@nagano-ngn.ed.jp

「さわやか信州省エネ大作戦・2014 夏」実施中！

昨年に引き続きこの夏も、長野県では、県民生活や経済活動に支障を及ぼさない無理のない範囲で、節電・省エネルギーに向けた県民運動を展開しています。

特に、ピーク時間帯における最大電力の抑制を中心に、未来志向型のライフスタイル、ビジネススタイルへの転換につながる、前向きな節電・省エネ対策を講じ、これまでに進んできている節電構造の更なる定着を図ります。

教育関係者の皆さんにおかれましても、積極的なご協力をお願いします。

◇節電・省エネ目標◇

最大電力について平成 22 年比▲ 7 % (▲約 20 万 kW 分)

◇取組の期間◇

6 月 13 日 (金) ～ 9 月 30 日 (火)

★「さわやか信州省エネ大作戦・2014 夏」の詳細や、ポスター・チラシ等のダウンロードについては、以下 URL をご覧ください。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/kurashi/ondanka/setsuden/shoene/index.html>

★「大作戦」には、「学校等における節電・省エネ教育の推進」が盛り込まれています。

- 節電チラシやポスターを活用して節電・省エネ教育を実施。
- 小中学校で、校内の蛍光灯の「スイッチ切る係」を設けるなど、節電・省エネルギーの取組を働きかける。
- 市町村教育委員会や P T A などを通じて節電・省エネルギーの取組を周知。

学校関係者の皆さんにおいては特に以下の 3 点の取組をお願いします。

- ・節電チラシ（節電・省エネアクションメニュー）などを活用して、節電・省エネに関する児童生徒の実践や意識高揚などを図っていただくとともに、児童生徒等を通じて、家庭に普及していくような取組。
- ・校長会を通じても依頼しますが、公立の小中学校における、「スイッチ切る係」を設置していただく取組。
- ・教職員自らが率先して行う節電・省エネの取組。

★学校における節電省エネ対策の参考資料

（文部科学省：学校施設における省エネルギー対策について（教職員向け））

http://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/green/080501-1.htm

◆お問い合わせ◆

教育総務課 企画係

TEL 026-235-7423 FAX 026-235-7487

E-mail kyoiku-kikaku@pref.nagano.lg.jp

イベント情報・お知らせ

★小中学生を対象とした

信州魅力発見「算数・数学問題作成チャレンジコンテスト」を開催します★

県内の人物、歴史、建物、自然などを素材とした算数・数学の問題を作ることにより、小学生の知的
好奇心や思考力・構想力を伸ばすことを目的とした、信州魅力発見「算数・数学問題作成チャレンジコ
ンテスト」を、本年度初めて開催します。ぜひご応募ください！

◆問題募集期間

平成 26 年 6 月 2 日（月曜日）～9 月 1 日（月曜日）

◆表彰

平成 26 年 12 月 13 日（土曜日）

◆お問い合わせ◆

教学指導課 義務教育指導係

TEL 026-235-7434

FAX 026-235-7495

E-mail kyogaku@pref.nagano.lg.jp

★スポーツ課からのお知らせ★

◆信州チャレンジスポーツ DAY2014

日時：平成 26 年 10 月 4 日（土）

会場：松本平広域公園等

本年度から始まるイベント、信州チャレンジスポーツ DAY2014 に参加しませんか。
募集期間は 7 月～8 月です。皆さまのご参加をお待ちしております!!!

※詳細は下記の HP をご覧ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/taikucenter/csd2014.html>

◆SWAN プロジェクト第 6 期生の募集

・選考期日・場所

10 月 26 日（日） 松本市 信州スカイパーク体育館

11 月 1 日（土） 長野市 ホワイトリングサブアリーナ

※松本会場、長野会場のどちらかで 1 回のみ参加

・対象：小学校 4～6 年、一般

・募集：8 月～9 月

日本を代表し、世界で活躍する未来の冬季オリンピックメダリストを見出し、育成することを目指
します。長野県から全国、そして世界で活躍するチャンスです。

※詳細は下記の HP をご覧ください。

http://www.nagano-sports.or.jp/associat/swan_project.html

◆スポーツ課 facebook

長野県教育委員会事務局スポーツ課の facebook です。

競技会情報、表敬訪問の様子及びスポーツ課の日常風景等、長野県のスポーツに関する話題を幅
広く掲載しています。毎日更新しておりますので、是非ご覧ください。

<https://www.facebook.com/sports.nagano>

◆お問い合わせ◆

長野県教育委員会スポーツ課

〒380-8570

長野県長野市大字南長野字幅下 692-2

電話：026-235-7449 FAX：026-235-7476

E-mail：sports-ka@pref.nagano.lg.jp

目次
戻る

★長野県生涯学習推進センター研修講座のご案内★

7月から8月までに開催する研修講座のご案内をいたします。詳細については、当センターのHPをご覧ください。皆様の参加をお待ちしております。

タイトル	日時	実習・講座	講師
◆男女共同参画フォーラム 「男女ともに生きやすい社会を目指して」 ※会場 長野県男女共同参画センター“あ いとびあ”(岡谷市)	7月5日(土) 時間 13:30～ 15:30 (10:30～ ワーク ショップ・もよおし・ 展示・販売)	講義:「男女ともに生きやすい社会 を目指して」	講師 中央大学法学部教授 廣岡 守穂 氏
◆生涯学習推進講座 「困難を有する子ども・若者の支援 ～ 地域の資源を生かしてつなぐ～」	7月10日(木) 時間 9:40～16:00	講義「地域を創る就労支援 一伴 走型支援「静岡方式」の理念と実 際」事例発表・情報交換	講師 NPO法人「青少年就労支援ネット ワーク静岡」理事長静岡県立大学国際関 係学部教授 津富 宏 氏
◆家庭教育講座 「不登校の理解と対応～4つの維持 要因と具体的対応～」	8月8日(金) 時間 9:40～16:00	講義「不登校—4つの維持要因と 具体的対応—」 演習「不登校の事例検討」	講師 筑波大学人間系心理学域教授 藤 生 英行 氏
◆セミナー(センター施設開放)	8月23日(土) 時間 14:00～ 15:30	講義「香りを楽しみ、健康に生か す」	講師 愛原心理研究所所長 愛原 由子 氏

※受講は無料です

※会場の記載がない講座は、当センターにおいて開催します。

※詳細は、開催日の1ヶ月前に出される開催要項でご確認ください。生涯学習推進センターのホームページは <http://www.nagano-c.ed.jp/shogai/> です。

◆お問い合わせ◆

長野県生涯学習推進センター
〒399-0711
長野県塩尻市片丘南唐沢 6342-4
電話：0263-53-8822 FAX：0263-53-8825
E-mail：shogaigakushu@pref.nagano.lg.jp

★県立長野図書館からのお知らせ★

1. 『すばらしき信州の山々 「信州 山の日」企画展』 を開催します

県立長野図書館では、今年制定された「信州 山の日」を記念して、下記の企画展を予定しています。ぜひご来館いただき、様々な「山」を感じてみてください。

◆開催期間 7月26日(土)～8月28日(木)

◆場 所 当館1階ロビー、視聴覚室など

◆内 容

(1) “「山」を読む”

…当館所蔵資料の「山」に関する様々な本を展示・貸出するコーナー

(2) 「百瀬達也の世界—里山の昆虫(なかま)たち(仮題)」

…切り折り紙による里山に住む昆虫作品の展示

(3) 『“私”の「信州 山の本」』

…自分にとって大切な「信州の山」の本を紹介するコーナー

(4) “「山」を視る”

…当館所蔵の映像資料の中から「信州の山」に関するものを放映。

□企画展に関する問合せ

県立長野図書館 資料情報課

〒380-0928 長野市若里 1-1-4

TEL:026-228-4500 FAX:026-291-6252

Eメール:ken-tosho@library.pref.nagano.jp

ホームページ ; <http://www.library.pref.nagano.jp>

2. 「しらべるって楽しい!夏休み図書館」を開催します

当館では子どもたちに夏休みの貴重な体験を通して素敵な思い出を作ってもらうため、恒例となった「しらべるって楽しい!夏休み図書館」を今年の夏も開催します。

夏休みの自由研究に役立つ企画や、アニメビデオ上映会などがありますのでぜひご家族おそろいでご来館ください。

◆開催期間 6月28日(土)～8月28日(木)

◆内 容

(1)パズファインダーの掲示・配布

パズファインダーとは1つのテーマに関する調べ方を1枚のチラシにまとめた「情報への道しるべ」です。今年は「お金」「高山植物」「石・鉱物」「おぼけ」「方言」など、様々な分野から25のテーマを用意しました。自由研究のテーマ選びの参考に、ぜひご利用ください。

(2)自由研究に役立つ本の特設コーナー

児童図書室では「夏休みの自由研究」をテーマにした特設コーナーを設け、様々な実験や、アサガオ・天気観察、そのほか身近な材料で作られる工作の本など、自由研究に役立つ本を用意します。

また、このコーナー以外でも自由研究に使える本はたくさんありますので、お気軽にカウンター職員におたずねください。調べ方についてのご相談もお受けします。

(3)夏休みアニメビデオ上映会

8月上旬に予定しています。詳しい日程・プログラムは後日お知らせします。お楽しみに!

3. 休館日のお知らせ

6～7月の休館日は、次のとおりです。

- ・月曜日 6月23、30日、7月7、14、21、28日
- ・月末整理日 6月27日(金) 7月25日(金)

※今年度は10月1日(水)～31日(金)に耐震化工事による休館を予定しています。

■年間の図書館カレンダーは、下記からご覧いただけますのでご利用ください。

→ <http://www.library.pref.nagano.jp/guidance/access#cft4>

◆お問い合わせ◆

県立長野図書館

〒380-0928 長野県長野市若里 1-1-4

TEL : 026-228-4500 FAX : 026-228-4933

E-mail : naganotoshokan@pref.nagano.lg.jp

あとかき

7月号のメールマガジンをお送りします。
梅雨のせいか、雑草の伸びが異様に早くてびっくりしている今日このごろです。
先日草取りしたばかりだというのに…。

小中学生の頃、実家の庭によく花の種を蒔きました。しかし、少しの間に花壇を草だらけにしてしまうのが常でした。花のみならず、両親が世話をする家庭菜園も同じことで、どんな猛暑でも雑草だけはすくすくと育っていたものです。

「同じ場所にあるのに、なぜ雑草ばかりが育つのか」と、真剣に考えた記憶があります。

現在ベランダにおいてある植木鉢の中でさえ、何処から来たのか分からない植物が、いつの間にやら茂っています。

一時期流行語になりましたが、どんな環境でも、例えブロックの割れ目でも成長できるのは、まさに「雑草魂」だと思います。

草取りは気が滅入りますが、そこだけはあやかりたいものです。 (か)

[目次に
戻る](#)